

白老町都市計画審議会（第1回）会議要旨

日 時：令和4年5月27日（金）15：00～15：50

場 所：白老町役場 第1委員会室

出席者：松田会長、清水副会長、吉谷委員、広地委員、熊谷委員、西村委員、井澤委員
鈴木委員、福田委員 計9名

事務局：富川課長、温井主幹、熊谷主幹、坂本主任 計4名

会議要旨：

1 委嘱状交付

2 会長・副会長選出

会長に松田委員、副会長に清水委員を選出

3 議事

(1) 諮問第1号 第2次白老町都市計画マスタープラン（案）について

○ 事務局から説明

○ 質疑・意見

【西村委員】

・都市計画公園が18箇所とあるが、町内にはこの他にまだ公園がある。将来的に都市計画公園のみ残すという考えなのか。公園は子育ての場や地域コミュニティの場としても非常に重要な施設として考えている。

⇒ 将来的に都市計画公園のみを残すという考えではなく、公園施設の長寿命化計画等に基づき優先順位をつけながら、段階的に整備を進めていく考えです。

【広地委員】

・本町においても少子高齢化、人口減少が続いている。今後のまちづくりには、縮小しながらも充実を図る「縮充」の考え方が大切である。これまで整備してきたインフラ等を全て更新した場合、向こう40年間で900億円程度の経費が発生し、まちを持続的に発展させることが難しくなる。

【吉谷委員】

・本町の地勢的な要因等から、コンパクトなまちの実現は非常に難しい問題であると認識している。だが、今後の人口減少社会に対応していくためには、本プランに沿ったまちづくりが必要であると考えます。

【熊谷委員】

・東西に細長い本町においてコンパクトなまちにしていくことはとても難しい。また、高齢化が進む本町においてコンパクトが行き過ぎると、行動範囲が狭ばり、お年寄りの引きこもりにつながると懸念している。高齢者の行動範囲を広げるためにも、公共交通の充実がこれからのまちづくりに大切であると考えます。

【福田委員】

- ・ 虎杖浜地区の生活圏は登別市である。公共交通の登別までの延伸について、どこまで検討されているか。
- ⇒ 都市間交通は道南バスが担っているため、現状の地域公共交通のスキームでは延伸が困難です。現在、広域行政の観点で延伸が可能かどうか検討しているところです。

【鈴木委員】

- ・ 出張所を廃止するという話を聞いているが、町民への説明は行わないのか、また、本プランの策定と関わりがあるのか。
- ⇒ 本件について所管課が異なるため、出張所廃止のお話はこの場ではお答えできません。後ほど担当課にご意見をお伝えします。

2 その他

【事務局より】

- ・ 次回は本諮問に対する答申を議題とする。開催日は6月下旬を予定。